
プレゼンテーションタイムキーパー[PTK]

取扱説明書

このたびは数あるソフトウェアの中からプレゼンテーションタイムキーパー『PTK』をお選び頂きまして誠にありがとうございます。当ソフトは学会等での発表時間を管理するタイムキーパーの補助ツールです。用途が狭いため機能も少ないですが、最大限の利便を提供できるようご説明申し上げますので、最後までご一読いただければ幸いです。

開発責任者 N

1. 準備

1. ダウンロード

この製品は特別なインストール作業は必要ありません。ダウンロードしたフォルダを開き、アプリケーションファイルをダブルクリックすれば使用できます。

1. Vector のホームページ(<http://www.vector.co.jp>)からダウンロードします。

※. 当ソフトはフリーウェアです。無料のため金員の請求・徴収は発生しません。

2. 圧縮ファイルを開くとフォルダが現れます。

2. ハードウェア

当ソフトを使用するために必須なものはパソコンのみです。

- ① パソコン … Windows 搭載のパソコンが必要になります(OS バージョン不問)。
- ② スピーカー … 報知音を鳴り響かせるために使用します。会場環境に合わせてご用意ください。
- ③ モニタ … タイマ画面をサブモニタ等に表示する場合に使います。

3. 注意

1. 当ソフトはインストール処理が不要なためアンインストール行為自体が存在しません。不要になった場合はファイルを閉じ(終了し)、削除してください。

※. コントロールパネルの『プログラムの追加と削除』などの操作は不要です。

2. 当ソフトの使用にインターネット環境は不要です。

3. 当ソフト起動時にセキュリティソフトにより疑義警告が発せられる場合がございます。

4. ご利用者様のコンピューターの環境によっては何らかのソフトウェアなどと競合する場合がございます。

当ソフトはコンピューターシステムの時計機能を参照して動作しますが、システム時計を操作する機能は備えておりません(コンピューターに影響を与える処理プログラムは記述していません)

2. 使い方

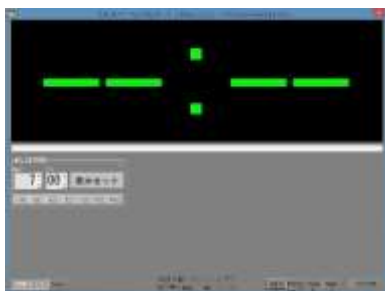
この製品はタイムキーパー担当者様の業務支援ツールです。持ち時間の決められた発表などの計時、残り時間や時間超過のお知らせができます。管理者側と発表者側で別画面を表示する機能も搭載しています。

1. 起動

1. フォルダ内にある『PTK(PresentationTimeKeeper). exe』をダブルクリックします。
※. 拡張子『. exe』が表示されるか否かはご利用のパソコン環境(設定)に依存します。
2. PTK が起動します。
※. 起動しない場合、EXE ファイルを右クリックし『管理者として実行』をお試しください。
※. セキュリティソフトにより起動を阻止されている場合、セキュリティソフトの設定をご確認ください。

2. 総計測時間の設定

1. PTK フォルダ内にある『PTK(PresentationTimeKeeper). exe』をダブルクリックする。
2. 画面中段左の『総計測時間』欄の時間をプレゼンテーションの持ち時間に合わせる。
※. 直下にある『1 分』などのワンタッチボタンを押すと時間が簡単にセットできます。
3. 画面中段左の『総計測時間』欄の『表示セット』ボタンを押す。
4. 画面上段の時間表示部に総計測時間が表示される。



起動直後の画面



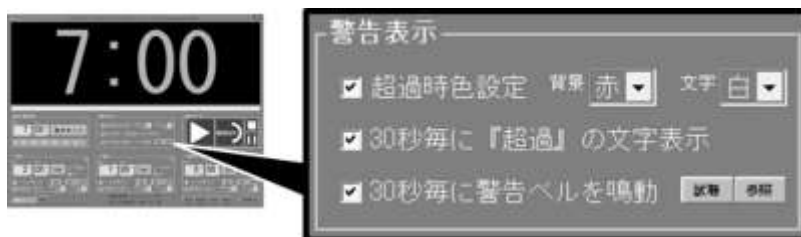
総計測時間設定欄



総計測時間設定後

3. 終了時・超過時の設定

1. 画面中央にある『警告表示』欄を操作します。
2. 時間超過時に背景色・文字色を変更する場合は、そのチェックボックスにチェックマークを入れます。
3. 背景色、文字色をドロップダウンメニューから選択します。
4. 超過 30 秒毎に『超過』を表示する場合は、そのチェックボックスにチェックマークを入れます。
5. 超過 30 秒毎に報知音を鳴動させる場合は、そのチェックボックスにチェックマークを入れます。
6. 超過 30 秒毎の報知音の音源を任意設定する場合は『警告表示』欄の『参照』をクリックして選択します。



警告表示欄

4. 予鈴の設定

1. 画面下段にある予鈴設定欄を操作します。予鈴は1～3まであり、各動作は以下のとおりです。
2. 予鈴設定欄の『Min』と『Sec』を操作し、予鈴を動作させる時間を設定します。
3. ベルを鳴らすか否かをチェックマークで選択します(チェックマーク有が鳴動あり)
※. 予鈴設定欄の『試聴』をクリックするとサウンドが再生されます。
4. 報知音の音源を変更する場合は『音源ファイル参照』をクリックし、任意のファイルを選択します。
※. 音源ファイルを設定するとファイル名(パス名)がメッセージボックス通知されます。
5. 画面色を変化させるか否かをチェックマークで選択します(チェックマーク有が色変化あり)。
6. 背景色、文字色をドロップダウンメニューから選択します。
7. 予鈴を動作させる場合は『予鈴 ON』のラジオボタンをアクティブにします。
※. 予鈴設定欄の右上のパイロットランプが点灯(緑色)します。



予鈴設定欄




音源ファイル選択



音源ファイル設定確認通知

5. 計時動作

1. 画面中段右にある『操作ボタン』欄の  または画面下方右にある『Start』ボタンをクリックする。
2. 時計表示が1秒ずつカウントダウンし始めます。
3. 予鈴が設定されている場合には、設定時間になると画面色変化や報知音鳴動が起こります。
4. カウントダウンが終わり0秒(表示は0:00)になると時間表示欄の背景色が変更されます(設定のみ)。
5. 超過5秒毎に時間表示の数字が黒文字に点滅します(平時白文字)。
6. 超過30秒毎に時間欄に『超過』が表示され、報知音が鳴動します(共に設定時のみ)



予鈴1の動作(背景色が黄色)




予鈴2の動作(背景色が白色)




30秒超過時の画面表示

6. 計時途中の操作

a. 一時停止

▽画面中段右の『操作ボタン』欄の  または画面下方にある『Pause』をクリックする。


b. 再開(一時停止後)

▽画面中段右にある『操作ボタン』欄の  または画面下方右にある『Start』ボタンをクリックする。

※. ReStart ボタンは Reset & Start のため時間がリセットされて最初から計時がスタートします。


※. 誤って ReStart させてしまった場合は総計測時間に任意の残時間を設定して ReStart します。

c. 停止(リセット)

▽画面中段右の『操作ボタン』欄の  または画面下方にある『Reset』をクリックする。

※. 時間表示は『総計測時間』で設定された時間にリセットされ、停止状態で待機します。

d. リセットスタート

▽画面中段右の『操作ボタン』欄の  または画面下方にある『ReStart』をクリックする。

※. 計時動作中でも時間表示がリセットされ、同時に計時を新たにスタートします。

※. 発表時間から質疑応答時間に切り替える際などに利用すると便利です。

e. 画面マスク

▽画面最下左にある『画面マスク』ボタンを押すと操作ボタン等が消え、操作画面全体が時間表示部の背景色に統一されます。

▽画面マスク中は最下左のボタンは『マスク解除』に表示が変わります。

f. スレーブモニター

▽画面最下左にある『Slave』ボタンを押すと時計だけが表示された画面が表示されます。

▽スレーブ画面として現れた表示フォームをサブ画面など任意の位置へ移動させて使用します。

▽時計は同期していますが、パソコンの処理速度が著しく低下している場合には遅れて表示される場合があります。



操作ボタン



画面マスク



メイン画面とスレーブモニター機能

3. 便利な使い方

1. 音源ファイルの置換

報知音は任意のファイルを割り当てて鳴動させることができますが、毎回設定する必要があり、その設定を記憶することはできません。

毎回使用したいファイルがある場合、下記要領に従って当該任意ファイルを所定のファイル名で保存すると毎回の設定が不要になります。

1. 音源ファイルを用意する。

2. 音源ファイルのファイル名を『PTK_Sound0*』に変更する。

※. ファイル名の末尾の『*』には 0～3 の数字が入ります。時間超過時の音源ならば 0 (PTK_Sound00. wav)、予鈴の音源ならば各予鈴の番号に合わせて 1～3 (PTK_Sound01. wav など) を当てます。

※. ファイル名に不安がある場合は先に以下手順を進め、既存ファイルからファイル名をコピーして利用してください (既存ファイルをクリックして F2 ボタンを押し、Ctrl キーを押しながら C キーを押す)

3. PTK フォルダの『DATA』フォルダを開く。

4. 開いたフォルダ内の『Sound』フォルダを開く。

※. 置換予定のファイルを念のため残しておく場合は対象ファイルを右クリックしてコピーし、任意のフォルダに保存するか、現在のファイル名を変更してください。

5. 用意した音源ファイルを Sound フォルダに移動 (またはコピー & ペースト) する。

6. 警告表示が出ますが、そのまま進める。

7. ファイルが置換される。

※. 次回から置換されたファイルが再生されます。

プレゼンテーションタイムキーパー PTK 取扱説明書

発行・編著 — NES

問 合 先 — ampita-info @ ampita.net

発 行 日 — 2015 年 4 月 16 日 初版 (Ver1.0～1.1 対応)

*. 本書の著作権は作成者または当プロジェクトに帰属します。

*. 本書の一部または全部を著作者に無断で転載、改変などを行うことは禁じられています。

*. 本書は PTK を利用する目的に限り、利用許諾組織内での複製を許可します。